

4 グループ共通IT / follow

NTTグループDXで115社のバックオフィス業務を刷新 2024年働き方改革に向けた「follow」の市場展開

NTTコムウェアは、グループ115社、利用ユーザ25万人の共通ITシステムを、財務・調達・請求・決裁・勤務管理の5領域で同時に導入し、NTTグループDXを実現。リモートワークを基本とする新たな経営スタイルへの変革を背景に勤務管理ソリューション「follow[®]（フォロー）」を市場展開している。

NTTグループ115社 25万人が利用する共通の ITシステムをビッグバン導入

2018年、NTTは中期経営戦略Your Value Partner 2025の柱として「自らのデジタルトランスフォーメーションの推進」を掲げた。NTTグループ（以下、グループ）の中核事業がICTへシフトし、新事業領域へ進出する中、ビジネスにおけるデータ活用と、そのための基盤づくりが必須となったためである。

そこでまずは、NTT（持株会社）のもと、グループ会社のデータを連携するためのEA（エンタープライズアーキテクチャ）を設計。それま

で各社ごとに運営していた個別システムをこのEAに基づいた共通のITシステム（以下、グループ共通IT）に統一することで、グループ間のデータ流通の実効性を高め、デジタル経営を実現した。

併せて、SAP S/4 HANA、SAP Ariba、ServiceNow等のグローバルリファレンスを最大限に活用することで、グループ全体の業務標準化とシングルインプット等による業務効率化を、2023年4月に同時に実現させた。ITと業務の両面から、約25万人



NTTコムウェア株式会社
エンタープライズソリューション事業本部
エンタープライズビジネスソリューション部
(中央) ソリューションコンサル部門 部門長 松尾 知明氏
(右) 担当課長 奥本 智氏
(左) 第1ソリューション開発部門 課長代理 田中 郁夫氏

が利用するバックオフィス5領域（財務・調達・請求・決裁・勤務管理）でのグループDXを成し遂げ、デジタル経営など、VUCA時代におけるアジリティを獲得した。

世の中に先駆けた“Work in Life”の実現にむけた勤務管理ソリューション「follow」の展開

グループ共通ITの導入推進中に新型コロナウイルスの感染が拡大。世の中が新しい働き方を求められるなか、NTTグループは、他の企業に先駆けてリモートワークを基本とする新しい働き方“Work in Life”へと舵を切った。“Work in Life”実現にむけては、勤務場所・勤務時間・キャリアの選択等社員のセルフマネジメ

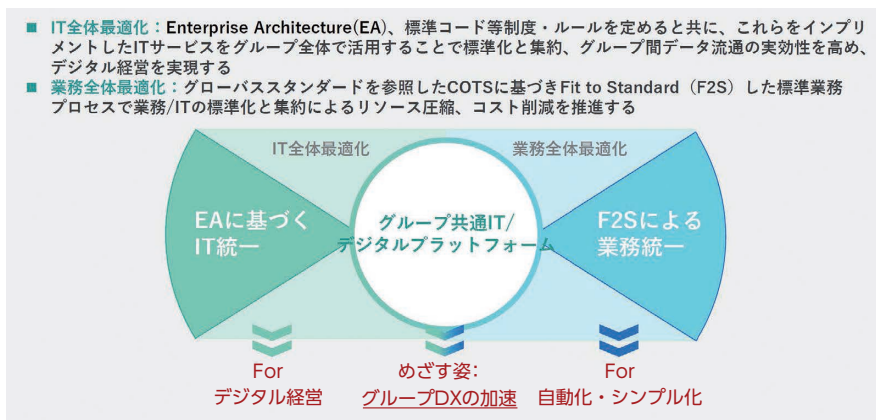


図1 NTTグループのDXに向けた共通のITシステム導入の目的

ント支援が掲げられ、それらの制度・施策に柔軟に対応可能なデータ活用基盤としてNTT コムウェアが提供する「勤務管理ソリューション follow」(以下、follow) が採用された。

また、グループ共通ITについては、グループ内の利用会社の拡大、EX (Employee Experience) 向上を進めると共に、follow を先陣として、企画・開発・導入のノウハウをソリューション化し、ドコモグループで連携しながら広く市場展開、世の中の“Work in life” への貢献を通して、CX (Customer Experience) の高度化を図っていく。

働き方に応じて 2タイプの follow を提供

現在、follow は多様な働き方に対応する勤務管理領域ツールとして、また NTT グループとしての信頼性も評価され、既に 10 万人以上に利用されている。

follow は、オフィスはもちろん、テレワークや出張先での正確な勤務管理の実現にも強みをもつ。また、工数管理機能は作業内容別の時間申請に活用でき、給与・手当計算や原価管理、各種申請等のほか、業務を可視化でき、労働生産性の向上も期待できる。企業の就業ルールに合わせ柔軟な設定が可能だ。また、NTT グループへの提供実績の他、導入が手軽であり幅広い業界の実績がある点も follow が評価される理由となっている。

クラウド型 follow として、「follow SaaS 版」「follow Smart Touch」2つのラインアップを提供している。更に、2024 年を見据え、より手軽に導入できるモデルの提供準備も現

在進めている。

● follow SaaS 版

リモートワーク管理や工数管理などでもできる高機能モデルであり、より高度な“Work in life” 実現をサポートする。勤務管理に必要な基本機能に加え、旅費(「駅すばあと」と連携)や休暇の申請および管理にも対応している。ビジネスチャット連携などの機能も用意されている。

従業員にとっての利点は、パソコンやスマートフォン、IC カードリーダーなど業務で利用している身近な機器での出退勤時刻の打刻が可能であること。また、工場の出入り口や店舗に置かれた共有端末を使った打刻も可能。管理者にとっては、従業員の出退勤時刻や残業時間等をリアルタイムで確認できるだけでなく、パソコンのログイン、ログオフ時刻も把握することが可能。また、昨今の複雑な就業規則に合わせた柔軟なカスタマイズが可能であるため、様々な勤務形態に合わせたシフト作成ができる。なお、従業員の勤務時間の集計をする際には、給与計算ソフトとの連携が可能のため、手入力の手間やミスを削減できる。さらに労働基準法の改正に対応しているため、社内における法令遵守への意識向上につながる。また、従業員の作業内容を時間単位で把握できるため、何の作業にどれだけ時間がかかったのが見ることが可能となる。そのデータをもとに人員を再配置して生産性を高める分析に役立てたり、きめ細かい原価管理も行いうこともできる。

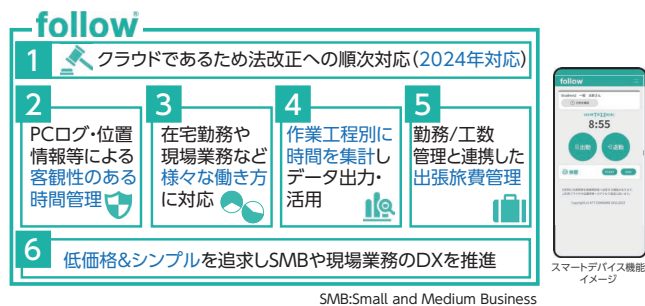


図 2 「follow」の特長

● follow Smart Touch

「follow SaaS 版」の豊富な機能を絞って提供することで、シンプルで扱いやすく低コストでの導入が可能なクラウド型モデル。個人別のパソコンがなくとも、スマートフォン、IC カードリーダーなど身近な機器で打刻可能な勤務管理サービスを業界最安クラスの利用料にて提供しているため導入しやすく、UI (User Interface) や設定もシンプルなため中堅・中小企業や建設・運輸業界等における紙管理からの脱却を迅速に実現する。さらに、現在、スマートフォン利用者向けに、よりシンプルなモデルの提供準備を進めている。

今後の展開

2024 年対応ともいわれる建設・運輸・医療業界への働き方改革関連法の一般則適用もあり、勤務管理システム導入のニーズは高まっている。

follow は今後、ドコモビジネスブランドのもと、モバイル連携を主としたプロダクト強化に取り組む。

中堅・中小企業を含めた従業員の働き方改革、並びに生産性向上、健康経営を推進し、少子高齢化社会において健康で安心して働ける社会をデジタルで実現することをめざして貢献していく。